

基地再編交付金を原資とした

二つの基金条例を可決

安全・安心まちづくり 基金条例を可決

徘徊する高齢者の位置確認、メール配信、防犯パトロールなど、安全・安心まちづくりの費用に充てるため、新たに基金を設置し、その管理に必要な基本的事項について条例で定めるものです。



他市で導入されている青色回転灯を装備した防犯パトロール車

教育向上基金条例を可決

学力向上、健全育成事業などの費用に充てるため、新たに基金を設置し、その管理に必要な基本的事項について条例で定めるものです。

議員からの質疑(要約)

- Q** この教育向上基金活用で期待するものは。
A 児童生徒の学力、豊かな感性、生きる力のほか、学校力、教師力なども含め、全てが向上することを期待している。
- Q** 想定している事業計画は。
A 学力調査、漢字検定、ミュージカルや歌舞伎の鑑賞などについて、対象学年を拡大するほか、体力テストなどを実施していきたい。

職員給与条例の改正を可決

人事院および東京都人事委員会の勧告に基づき、町職員の給料月額を平均1.4%引き下げ、地域手当を現行12.5%から14%に引き上げるため、『瑞穂町職員の給与に関する条例』を改正するものです。

特別職等給与条例の改正を可決

職員の給与改定に伴い、特別職(町長・副町長)と教育長の給与についても地域手当が引き上げられることにより、それに見合う給料月額を引き下げを行うため、『瑞穂町の特別職の職員の給与に関する条例』・『瑞穂町教育委員会教育長の給与及び旅費等に関する条例』を改正するものです。なお、給料月額の減額は、町長10,000円、副町長9,000円、教育長9,000円となります。

表彰条例の改正を可決

表彰の種類に「栄誉表彰」および「感謝状」を追加するため、『瑞穂町表彰条例』を改正するものです。

出産育児一時金

35万円から38万円に

「産科医療保障制度」が導入されることにより、出産費用の負担増が見込まれます。そこで、出産医療機関の維持と出産家庭の負担軽減のため、『瑞穂町国民健康保険条例』を改正するものです。これにより、出産育児一時金が35万円から38万円に引き上げられます。

町営グラウンド用地の一部を売却

20年3月に取得した瑞穂中学用地との公共用地交換事業として、町営グラウンド用地の一部を国に売却するものです。これにより、グラウンドの一部が国(防衛省)の土地となりますが、今までどおり継続して使用できることとなっています。

面積 5,695.66㎡
予定価格 1億3,094万3千円

都市計画税条例の改正を可決

都市計画税の税率の特例を延長し、21年度から23年度までの税率を、現行の0.27%に据え置くため、『瑞穂町都市計画税条例』を改正するものです。

ごみの指定収集袋に

ミニサイズを追加

ごみの指定収集袋にミニサイズの5リットル袋(1枚7円)を新たに追加するため、『瑞穂町廃棄物の処理及び再利用の促進に関する条例』を改正するものです。

議員からの質疑(要約)

- Q** ミニ袋導入についてのアンケート結果は。
A あまり必要性を感じていないという意見も多かったが、高齢者や単身者などからの強い要望にこたえるため、今回提案したものである。

選挙管理委員を選任

選挙管理委員および同補充員の任期満了に伴い、議会の選挙により次の方が選任されました。任期は4年です。

なお、12月26日に選挙管理委員会が開かれ、委員長および委員長職務代理が決定しました。

- 委員長 ☒ 大川 勝美氏(石畑)
- 委員長職務代理 ☒ 田田 治子氏(箱根ヶ崎)
- 委員 ☒ 高橋 幸雄氏(殿ヶ谷)
- ☒ 丹生 美西氏(長岡長谷部)
- 選挙管理委員補充員

- 第1順位 ☒ 岡部 親義氏(南平二丁目)
- 第2順位 ☒ 町田 仁氏(富士山栗原新田)
- 第3順位 ☒ 小山 一郎氏(箱根ヶ崎)
- 第4順位 ☒ 古川 英夫氏(石畑)



左は小袋、右が今回導入されるミニ袋